

大田市立病院の運営に対する点検及び評価報告書
(令和4年度 運営状況)

令和5年11月

大田市立病院運営評価委員会

目 次

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価について	…1
2. 大田市立病院運営における個別評価事項	…2
3. 大田市立病院運営における令和4年度の実施状況及び結果	…4
4. 大田市立病院運営における各種数値	…11
5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿	…15
(参考)大田市立病院概要	…15

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価について

良質な医療の提供と健全な経営の確立のためには、院内組織による検討だけでなく、外部組織による客観的な評価・提言が必要である。

大田市立病院では、外部有識者からなる運営評価委員会を設置し、概ね年一回開催することとしている。

今回、令和4年度の運営状況に対する点検・評価を行ったことからその結果を報告する。

(1) 点検・評価方法

大田市立病院運営評価委員会による点検・評価

- ・委員…外部有識者8人
- ・委員会開催日…令和5年10月30日
- ・方法…委員8人による項目別点検・評価を実施

【項目】

- 1) 収入増加、確保対策、
- 2) 経費節減対策、
- 3) 経営安定化対策、
- 4) その他の対策

【評価区分】

- A…目標が達成されている
- B…取り組みはしているが、現状未達成である
- C…目標が未達成である

(2) 点検・評価結果

(単位:人)

項目	評価区分		
	A	B	C
1) 収入増加、確保対策	4	4	0
2) 経費節減対策	7	1	0
3) 経営安定化対策	6	2	0
4) その他の対策	5	3	0

※表中の数字は評価した委員の人数

2. 大田市立病院運営における個別評価事項

項目	評価・改善事項
1 収入増 加・確保 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●経営強化に向けた数値目標で病床稼働率が令和5年度より86.5%と一気に上がっているが、人口減少のなか、計画通り患者数が見込まれるのか。また見込んだ患者数に応じた収入増加が見込んでいるのかどうか。 ●患者確保対策等で様々な取り組みがされ、収入確保に向けた努力が十分伺える。一方で、新型コロナウイルス関連の補助金に依存している状況に大きな変化はなく、安定した収入確保への取り組みが引き続き求められる。 ●患者数の確保や他の医療機関との連携など多くの努力が見られる。 ●時代の流れに沿って、患者数の確保においては、再度受け入れ体制について協議をしてほしい。 ●患者の受け入れについては、手術件数以外は見込よりも増加しているので目標は達成されていると思う。 ●コロナ禍の影響で外来患者数は減少しているが、救急患者数は増加しており、市立病院の評価は大きい。 ●令和4年度のみを見れば一定の収入確保は達成できているように見える。しかし、その中で占める新型コロナウイルス感染症に関連した補助金や繰入金割合も大きく、こうした補助金が無くなるであろう令和6年度以降に不安がある。 ●引き続き、病診連携の推進による病床稼働率の安定や各種加算等の積極的算定により、経営の持続可能性を高めていくことで、将来に渡って地域の拠点としての役割を担ってほしい。 ●未収金の縮減について、督促強化を図り対応してほしい。 ●訪問看護やリハビリについては、多くの方々から「よくしてもらっている。」との声を聞く。 ●令和5年度の目標が令和4年度よりもほとんどの項目で実績を増やされなければならないので、大変だと思われるが、達成を目指して頑張してほしい。
2 経費節減 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●人件費の適正化について、適正な配置転換等を実施されているので大いに評価する。 ●「人件費の適正化」と言われているが、医療従事者の確保など人手不足と言われており、なかなか難しい課題だと思う。残業など無くそうと思うとそれなりの人を雇い入れも必要になってくると思う。 ●今後も、働き方改革や経済状況等の社会環境の変化を注視しながら、引き続き経費節減に取り組んでほしい。 ●委託契約の見直しなど、委託費適正化での経費節減対策の努力が評価できる。 ●薬品や診療材料の価格交渉など大変だったと思う。これからも適正な取り組みをしてほしい。 ●物価、資機材費高騰の中で大変な苦労があると思うが、可能な限り経費節減の取り組みをしていると思う。 ●医業費用、医業外費用の支出面のほとんどの区分で見込みよりも実績が下回っている。このことは新型コロナウイルス感染症の影響をどの程度受けてのものかわからないが、減価償却前でも赤字となっているし、資金期末残高も増加している。費用抑制に対する努力の賜物と思う。 ●コロナ禍があけて、どのように推移していくか読めない面もあると思うが、引き続き支出の適正化に努めてほしい。
3 経営 安定化 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療従事者の確保に向けた体制づくり、臨床研修医を含む医師確保への努力、職員の意識向上に積極的に取り組まれている。コロナ禍においても可能な限り実施されている医療従事者確保・育成の取り組みの賜物だと思う。 ●医師の勤務環境改善に向けて努力している。引き続き、徹底して働き方改革を実施してほしい。 ●医療従事者の確保などは、なかなか大変な問題だと思う。 ●紹介が増えているが、脳神経外科の常勤医師がいなくなり脳外科系の救急対応が今後心配。 ●地域の中核病院としての役割を果たして欲しいという市民の期待に答えるため、職員全体の更なる意識向上への取り組みをお願いしたい。 ●市民に身近な病院であることも必要と思う。 ●既にやっているが、病院で働く人たちや職場環境を発信したりしながら多くの方に知っていただくことが必要だと思う。継続して頑張してほしい。 ●今後、一層職員の経営参画意識の向上が図られることで、職員一人ひとりが病院運営改善のアイデアを出し合うことができる職場づくりを進めてほしい。 ●コロナ禍で、小・中・高校生の見学などの受け入れが中止になってしまったことは残念だが、研修医の受け入れや総合医育成センターなどによって医師の確保がなされ、安定的な運営ができていることは素晴らしいと思う。

項目	評価・改善事項
4 その他の対策	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍対応に感謝している。基幹病院の役割を果たされたと思う。 ●今後とも患者満足度調査を実施して、サービスの向上を図ってほしい。市立病院全体が患者の目線に対応されているので、トータル的に評価。 ●患者満足度調査に記載された自由意見の中で取り組みことが可能な事項から順次着手し、その進捗状況を随時外来等で周知することで、一層患者満足度調査が向上すると思う。 ●患者満足度調査の結果を検証・共有して改善点を語り合ってほしい。情報発信もどんどんしてほしい。 ●患者満足度調査では前年度の調査と同様に、依然として外来での評価が全体に低い。 ●患者対応、予約時間や会計処理事務など改善への取り組みがされているが、評価を高めるには更なる工夫が求められている。 ●新病院への市民の期待は大きいので、他の病院の取り組み事例なども参考に、患者満足度が少しでも年々向上するよう、知恵を出し合って取り組んでほしい。 ●職員接遇の満足度が上がってきていることは、とても良いことだと思う。どの職員もまずはそこが大切だと思う。安心して診てもらえる病院であるように引き続きお願いしたい。 ●訪問看護利用者へ対する満足度調査で、設問への回答で「全くそう思わない」が上がっているの気になる。在宅のケア、看護はとても大変だと思う。協力できる事があれば協力していきたい。 ●ケーブルテレビ等での情報発信の強化により、住民の皆さんの市立病院への愛着がさらに強くなると思う。 ●銀の風の定期発行や石見銀山テレビでの情報発信、患者満足度向上の取り組みなど患者数増に取り組んでいることに敬意を表したい。これらの取り組みが市立病院の患者数増につながるとよい。 ●石見銀山テレビのDVDの持ち込みは良いと思うし、市立病院に対して親しみが持てるようなPRになれば良いと思う。 ●「お天気の良い日に、前の公園でリハビリされている姿に励まされるよ。」と、話された方がいた。

3. 大田市立病院運営における令和4年度の取組状況及び結果

1)収入増加、確保対策			令和4年度 取組状況及び結果
取組項目			
①患者数の確保	1	診療所への訪問や診療科案内、診療実績の送付	【◇取組状況】 ○11月に医療機関訪問(19医療機関)を実施し、着任医師の紹介や診療科案内、診療実績について情報提供を行い、患者紹介の依頼を実施。 ○3ヶ月毎に手術実績、内視鏡手術・検査実績、疾患別入院患者数の統計資料と患者紹介の依頼文書を送付。 【◆取組結果】 ○令和4年度訪問医療機関紹介患者数:4,762件 (対前年度比:△219件)
	2	医療機関間の連携強化	【◇取組状況】 ○他圏域での骨折治療後または脳血管神経疾患リハビリ期の患者の積極的な転院受け入れ。 ○済生会江津総合病院に回復期リハビリ病棟が無くなったため、出雲・松江圏域で脳血管疾患治療後の江津市の患者の転院相談があり、回復期リハビリ対象になる患者を数名受け入れ。 【◆取組結果】 ○令和4年度転院受け入れ件数:171件(令和3年度:189件) (うち回復期リハビリ目的92件、回復期リハビリ直入79件)
	3	救急患者の積極的な受け入れ	【◇取組状況】 ○医療機関訪問を行った際に救急を含む患者の紹介を依頼。 【◆取組結果】 ○令和4年度救急患者数:9,395人(対前年度比+3,272人)
	4	CTやMRIなど医療機器の積極的な活用	【◇取組状況】 ○骨折リエゾンサービスチームの発足に向けた取組を実施。骨密度検査時に使用する骨密度測定装置の活用を検討。 ※骨折リエゾンチームサービスとは…骨粗鬆症の治療向上と転倒予防を目的とした多職種連携システム
	5	院内多職種及び院外関係機関との連携等による退院支援	【◇取組状況】 ○入院早期から患者・家族と面談と面談し意向確認しながら院内多職種及び院外関係機関と連携を図り退院支援を実施。 ○令和3年度の経営コンサルタントからの入退院支援加算対象者拡大について助言があり、対象者について院内に周知。 ○患者が病院から安心・安全に在宅療養に移行し、継続できるような院外の関係者と連携し情報共有、カンファレンスを実施。また、医療度の高い患者について、オンラインを活用し、院内医師と開業医も交えてカンファレンスを実施(10件)。 ○退院支援の質を向上させるため、退院した患者の退院支援について振り返るフィードバックカンファレンスを継続して実施。 【◆取組結果】 ○入退院支援加算の算定 ・算定件数:1,524件(算定率:41.3%) (令和3年度1,319件(算定率:37.1%)) ○退院後訪問指導の算定 ・算定件数:5件(対前年度比:+3件) ○退院時共同指導2の算定 ・算定件数:51件(対前年度比:+5件) ○介護等支援連携指導の算定 ・算定件数:97件(対前年度比:△24件) ○退院前訪問指導の算定 ・算定件数:12件(対前年度比:△48件)

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
①患者数の確保	6 人間ドック・健康診断等健診事業の実施	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間ドックを毎週2日(火・金曜日各定員4人)継続実施。 ○検診検査の継続実施。 ○乳がん、子宮がん検診の継続実施。 <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間ドック <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実施件数:204件(対前年度比:+12件) ・令和4年度受託先団体:5団体(対前年度比:△2団体) ○検診検査 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実施件数:1件(対前年度比:+1件) ○乳がん、子宮がん検診 <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診:100件(対前年度比:△65件) ・子宮がん検診:605件(対前年度比:+98件)
	7 訪問看護、訪問及び通所リハビリテーションの提供	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度末(令和4年2月)より訪問リハビリテーション担当者を2名増員してサービス提供体制を再構築。 ○訪問看護サミット等の研修参加(WEB参加)により、訪問看護の最新情報入手。 ○病棟業務等を行っている看護師を兼任で引き続き配置することにより訪問看護提供に係る体制を整備。 ○ターミナル期・医療依存度の高い利用者の積極的な受け入れにより、看護体制強化加算取得を継続。 <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度患者数(対前年度増減) <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護:3,538人(△638人) ・訪問リハ:1,424人(△21人) ・通所リハ:419人(△87人)
②診療報酬の増収	8 がん化学療法の拡充	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新設された外来腫瘍化学療法診療料について施設基準の届出を行うとともに、副作用パンフレットの作成や化学療法の説明と同意書の全科統一書式を作成、患者が安心して治療を受けられる環境が充実。 <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外来化学療法加算1(450点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):13件(11人) (対前年度比:+2件(人数:増減なし)) ○外来腫瘍化学療法診療料1(700点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):110件(71人) ○外来腫瘍化学療法診療料1(400点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):37件(28人) <p>※外来腫瘍化学療法診療料については令和4年度診療報酬改定にて新設。 【参考:令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外来化学療法加算1(600点)の算定 <ul style="list-style-type: none"> ・算定件数(人数):104件(68人)
	9 リハビリ施行単位数増につながる業務の効率化	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度末(令和4年2月)より訪問リハビリテーション担当者を2名増員してサービス提供体制を再構築。 <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通所リハはコロナ禍における職員、利用者の感染症理由の利用減少があり減収。利用開始時間に遅れる利用者が一定数あり減算算定となることもあり減収の一因。 ○訪問リハは2名(終日)提供体制より4名(半日)提供体制へ変更して出勤困難やキャンセル等の代替提供することでコロナ禍影響を受けながらも増収。 ○通所リハ算定件数:349.73点(対前年度比:△22.36点) ○訪問リハ算定件数:1,326.77点(対前年度比:+65.34点)

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
②診療報酬の増収	10 栄養管理指導・薬剤管理指導など各種指導の件数増加	【◆取組結果】 ○令和4年度栄養指導算定人数:1,615人(対前年度+143人) ○令和4年度薬剤管理指導件数:3,320件(対前年度+199件)
	11 適正なベッドコントロールの実施	【◇取組状況】 ○朝週2(火・木)、夕方週1(金)に、患者情報の共有を行い転棟調整を実施。 ○DPCⅡの期間を目安とした転棟調整や地域包括ケア病棟への転棟割合6割未満を目標としたベッドコントロールを実施。 【◆取組結果】 ○コロナ専用病棟の確保や院内クラスターの発生による入院制限により、一時、通常のベッドコントロール実施不可。 ○地域包括ケア病棟の転棟割合6割未満については、医師の協力が得られ達成可能であることを検証。
	12 経営健全化検討委員会における新規基準取得に向けた検討	【◇取組状況】 ○心大血管疾患リハビリテーション料や二次性骨折予防継続管理料の取得について経営健全化検討委員会において議論、検討。 【◆取組結果】 ○主な施設基準の取得状況 ・感染対策向上加算、指導強化加算 ・外来腫瘍化学療法診療料 ・一般不妊治療管理料 ・ハイリスク妊産婦連携指導料1 ・心大血管疾患リハビリテーション料、初期加算 ・輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算 ・がん患者指導管理料ロ ・二次性骨折予防継続管理料1、2、3 ・看護職員処遇改善評価料
	13 診療報酬検討委員会における適正算定、査定分析	【◇取組状況】 ○院内での点検・精査の強化についての継続実施。 ○診療報酬検討委員会での査定分析。 ○査定状況を医師、担当部署に情報提供。 ○診療会議において査定分析状況の周知。 【◆取組結果】 ○令和4年度査定率:0.41%(前年度比:△0.30%)
	14 診療費支払督促強化による未収金の縮減	【◇取組状況】 ○診療費のお願いについての文書を送付し、督促強化(92件) ○不納欠損処理を実施(56人:223件:5,895千円) ○会計年度任用職員を1人配置。 【◆取組結果】 ○令和4年度末診療報酬個人未収金残高:6,164千円(対前年度末:△5,814千円)
	15 DPC運用の管理徹底	【◇取組状況】 ○DPC分析システムにより、3か月毎のDPCデータ分析を実施し、各診療科へのフィードバックすることで質の高い効率的な医療の提供。 【◆取組結果】 ○DPC分析システムにより、3か月毎のDPCデータ分析を実施し、各診療科へのフィードバックすることで質の高い効率的な医療の提供。 ○機能評価係数 令和4年度:0.1160(令和3年度:0.1023) ※DPC制度(診断群分類包括評価制度)とは・・・病気に対して効率よく無駄のない透明性のある医療を行うことを評価するもので、基本的には、入院初期に医療資源を集中的に投入し、早く病気を治すことにある。結果的に入院期間(在院日数)は短くなり、患者さんの経済的な負担や身体的ストレスが軽減される。また、患者さんを効率よく最短距離で治療・回復をした場合に、病院の入院収益が最も大きくなるような仕組みになっている。

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
③その他 収益の確保	16	<p>病院敷地内未活用地の売却</p> <p>【◇取組状況】 ○不調に終わったあゆみ保育園への売却予定地を含む西側未利用地5, 483. 52㎡の売却に向けて、以下の取組を実施。 ・不動産売買に係る関係機関・団体等への情報提供、情報収集。 ・売却に向けた課題整理と対応。</p> <p>【◆取組結果】 ○隣接する社会福祉法人2団体への売却交渉。 ○売却に向けた課題整理と対応。 ①8筆に分筆(売却促進化) ②隣接道(公衆用道路)の市道認定協議開始(建築基準法上の接道など) ③隣接地(用悪水路及び下水道管理設地)の環境整備計画(転落防止策及び防草工事) ④老朽化した看護師宿舍解体に向けた調整及び協議開始(令和4年度末看護師宿舍閉館)</p>
	17	<p>国県補助金の活用</p> <p>【◇取組状況】 ○新型コロナウイルス感染症に関連した補助金を中心に補助金の活用に向けて島根県などから情報収集。</p> <p>【◆取組結果】 ○令和4年度国県補助金: 701, 830千円。このうち新型コロナウイルス感染症に関連した国県補助金は680, 488千円。</p>
	18	<p>駐車場等所有財産の貸付</p> <p>【◇取組状況】 ○西側未利用地の貸付。</p> <p>【◆取組結果】 ○隣接する社会福祉法人2団体への売却交渉に合わせ、職員・来客者等の駐車場利用として貸し付けを実施(16台分契約)。</p>

2)経費節減対策

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
①人件費 の適正化	19	<p>適正な人員配置を反映した職員配置計画の見直しによる医療提供体制の最適化</p> <p>【◇取組状況】 ○必要人員の確保のため職員採用試験を実施。 ○適正な配置転換等の実施。</p> <p>【◆取組結果】 ○職員採用試験を実施。 ○患者数や職員の状況に応じた適正な配置転換等の実施。</p>
	20	<p>時間外勤務の縮減</p> <p>【◇取組状況、◆取組結果】 ○看護師における変則3交替制勤務を引き続き実施。 ○衛生委員会にて各職場における時間外労働の実態について情報共有。</p>
②委託費 の適正化	21	<p>業務委託内容の点検、見直しによる委託費の適正化</p> <p>【◇取組状況】 ○エレベーターメーカーと独立系業者との比較競争による昇降機保守契約額の削減を検討。 ○医療事務委託業務について、総合評価方式により業者選定を実施。 期間: 令和5年4月1日から令和10年3月31日 ・毎月1回委託業者との定例会にて意見交換を実施。</p> <p>【◆取組結果】 ○昇降機保守契約について5年度の契約更新に向け比較検討協議の結果、安価な提案を得る。 ○CTやMRIなど大型医療機器の保守について、個々の契約を契約の一本化することにより1, 783千円減額。 ○医療事務業務委託業者選定にあたり総合評価により委託費を含め、総合的に評価を行い業者を決定。</p>

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
②委託費の適正化	22	<p>薬品や診療材料の仕入れに関する価格交渉方法の見直し</p> <p>【◇取組状況】 ○ベンチマークシステム活用による業者との価格交渉。 【◆取組結果】 ○医薬品:2,807千円削減。 ○診療材料:3,222千円削減。(昨年度単価による比較、概算)</p> <p>※ベンチマークシステム:システムを導入している各病院から薬剤・診療材料の契約単価や購入実績データを集計し、平均単価、採用品の市場状況等が公表される。</p>
	23	<p>安価な同等品の活用</p> <p>【◇取組状況】 ○高価な採用品を見直し、安価な製品に切替。 【◆取組結果】 ○削減額:82千円削減(概算)</p>
	24	<p>後発医薬品の積極的な活用</p> <p>【◇取組状況】 ○後発品の流通状況を踏まえ、医師と調整し積極的に後発品と切替。 【◆取組結果】 ○削減額:123千円</p>
	25	<p>費用対効果や必要性を踏まえた医療機器の適正な購入</p> <p>【◇取組状況】 ○機器選定委員会による適正機器の選定。(価格、ランニングコスト、性能等の比較検討) ○補助金を活用した医療機器の購入。 【◆取組結果】 ○安価な機器の選定:超音波画像診断装置 当初(富士製)8,800千円 →(GE製)5,489千円</p>

3)経営安定化対策

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
①医療従事者の確保	26	<p>鳥根大学医学部、鳥根県及び地域医療支援センターとの連携</p> <p>【◇取組状況】 ○鳥根大学医学部各教室を定期的に訪問し、医師派遣を要望。 ○鳥根県が主催する医療審議会等の場で医師不足を含めた地域医療の実態を説明。 ・鳥根県地域医療支援会議(計3回出席、WEB開催) ○地域医療支援センターが主催する県内基幹型臨床研修病院連絡会(8病院)の場で、研修医の確保・研修内容等について情報交換や意見交換。 ・令和4年6月9日、11月11日、令和5年2月16日(Web開催)</p>
	27	<p>大田市出身学生や研修医とのつながりを強化</p> <p>【◇取組状況】 ○大田市医療政策課を交えた臨床研修推進室医師による大田市出身の医学生への面談(2回)、地域枠推薦希望の学生への面談(1回)。</p>
	28	<p>大田総合医育成センターの支援強化</p> <p>【◇取組状況】 ○総合医療学講座、育成センター会議の事務局として、会議の開催支援。 ○育成センター医師の研究支援。</p>
	29	<p>医師の勤務環境改善</p> <p>【◇取組状況】 ○医師クレークの配置。 ○宿直翌日の勤務負担軽減。 【◆取組結果】 ○医師クレーク(16人)の配置。 ○宿直翌日の勤務負担軽減(職免により)</p>

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
②医療従事者の育成	30 研修医にとって魅力的な研修プログラムの作成	【◇取組状況】 ○研修ローテーションを自分なりに相談しながらカスタマイズ。 【◆取組結果】 ○研修医よりローテーションの変更等の手続きなどを実施。
	31 医療従事者の現場実習受け入れ	【◇取組状況】 ○医学生実習の積極的な受け入れ。 ○医師以外の各職種養成学校等からの実習受け入れ。 【◆取組結果】 ○医学生実習 5, 6年生50人を受け入れ。実習中に当院医師との交流を行った。 ○養成学校等からの実習受け入れ。 ・看護師38人、理学療法士8人、作業療法士5人、言語聴覚士7人、薬剤師1人、管理栄養士2人、救急救命士1人、診療情報管理士1人
	32 学生の病院見学受け入れ、講演会の実施	【◇取組状況】 ○小学生の病院見学、中学生の職場体験、高校生の医療体験セミナー・インターンシップ等の受け入れ。 ○学校での出前講座等での講演。 【◆取組結果】 ○小学生の病院見学 (中止) ○中学生の職場体験 (中止) ○中学生・高校生の医療体験セミナー (中止) ○高校インターンシップ 11人 ○出前講座の実施 14団体(うち学校7校)・429人
③病院経営体制の構築	33 職員の経営参画意識の向上	【◇取組状況】 ○毎月開催している診療会議において、患者状況及び収益状況等を説明。 ○部長職以上の職種で構成された部長会において、経営状況を説明。 【◆取組結果】 ○経営強化に向けた取り組みや数値目標、収支計画を定めた経営強化プランを策定。電子カルテシステムトップページに掲載し、職員に周知。
	34 病院情報・経営情報の収集、課題抽出、対策実践	【◇取組状況】 ○電子カルテシステムトップページに病院情報、経営情報の速報値を掲載し、職員の情報共有。 ○県内にある13の自治体病院での情報交換会に年3回出席、他院から情報収集。
	35 業務の特性を踏まえたプロパー職員の採用・育成	【◇取組状況、◆取組結果】 ○プロパー職員の採用について検討。

4)その他の対策

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
①患者サービスの向上	36 患者満足度調査を踏まえた状況把握、分析、対策の実施	【◇取組状況】 ○患者満足度調査を平成27年度から継続実施。 ○訪問看護満足度調査を平成25年度から継続実施。 【◆取組結果】 ○患者満足度調査を実施。 ・期間 外来令和4年11月14日～18日 入院:令和4年11月14日～12月15日 ・回答数:外来491人、入院63人 ○訪問看護満足度調査を実施。 ・期間:令和5年2月6日～2月20日 ・回答数:65人 ○いずれも調査報告書(別添資料)を作成し、院内外に周知。

取組項目		令和4年度 取組状況及び結果
①患者サービスの向上	37 職員の接遇教育の継続的な実施	<p>【◇取組状況】</p> <p>○接遇研修会の開催(全職員対象)。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○接遇研修会の開催(全職員対象)。</p> <p>・「ちょっとした伝え方のコツ」 開催日:令和4年11月2日 講師:長谷 剛 氏 (株式会社志桜 代表取締役) 参加者:37名(他の職員はDVD視聴研修)</p>
	38 まめネットの積極的な活用	<p>【◇取組状況】</p> <p>○参加・閲覧同意の普及活動(ポスター掲示、幟の設置)。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○参加同意及び閲覧同意累計件数:5,123件(令和4年度末) ○新規参加同意及び閲覧同意件数:280件(対前年度比:105件) ○当院が連携カルテを閲覧した件数:216件(対前年度比:△88件) ○他院が当院の診療情報を閲覧した件数:2,380件(対前年度比:△246件)</p>
②情報発信	39 広報活動の推進	<p>【◆取組結果】</p> <p>○病院広報誌「銀の風」を4回発行。 ○ホームページ、フェイスブックによる適時な情報発信。 ○ぎんざんテレビを活用した情報発信。</p>
	40 各種イベントの開催	<p>【◇取組状況】</p> <p>○病院まつりの開催検討。 ○看護の日イベントの開催。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○病院まつりは新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止。 ○看護の日 ・エントランスホールで看護の日の紹介や看護師の取組みなどをポスター掲示により紹介。栄養指導のブースを設置。院内保育所園児の作品などを展示。</p>

4. 大田市立病院運営における各種数値

■ 医療機能・医療品質、連携の強化等に係るに係る数値(経営強化プラン(以下、プラン)P9)

(1) 医療機能・医療品質に係る項目(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
		(見込)	(実績)					
救急患者数(人)	6,123	8,978	9,395	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
手術件数(人)	715	730	703	850	850	850	850	850
分娩件数(件)	198	177	178	220	220	220	220	220
臨床検査件数(件)	883,091	921,003	925,154	980,860	980,860	980,860	980,860	980,860
画像診断装置稼働件数(件)	26,592	26,900	26,943	27,800	27,800	27,800	27,800	27,800
薬剤管理指導件数(件)	3,121	3,156	3,320	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
栄養指導算定人数(人)	1,472	1,400	1,615	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
リハビリ件数(人)	44,577	41,668	43,189	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
訪問看護患者数(人)	4,176	3,898	3,538	3,916	3,900	3,900	3,900	3,916

(2) 連携の強化等に係る目標(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
		(見込)	(実績)					
紹介患者数(人)	6,067	5,585	5,534	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
逆紹介患者数(人)	5,602	5,601	5,486	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500

(3) その他の項目(プランP9)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
		(見込)	(実績)					
研修医の研修受入件数(人)	7	5	10	9	8	9	9	9
人間ドック件数(件)	192	198	204	220	220	220	220	220
健康診断件数(件)	265	230	306	270	270	270	270	270
健康・医療相談件数(件)	2,320	2,500	2,603	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500

■ 経営強化に向けた数値(プランP17)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
		(見込)	(実績)					
1日平均入院患者数(人)	163.0	159.3	157.8	190.0	190.0	190.0	190.0	190.0
1日平均外来患者数(人)	495.1	490.1	487.2	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0
入院単価(円)	44,774	46,995	46,347	46,597	46,597	46,597	46,597	46,597
外来単価(円)	10,619	11,556	11,698	11,403	11,403	11,403	11,403	11,403
病床稼働率(%)	75.7	74.0	73.3	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
入退院支援加算件数	1,319	1,535	1,524	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650
給与費対医業収益比率(%)	71.3	69.6	69.9	65.5	65.6	65.5	65.6	65.5
材料費対医業収益比率(%)	18.1	18.7	19.1	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
経費対医業収益比率(%)	18.4	19.3	19.4	17.5	17.6	17.6	17.6	17.6
常勤医師数(人)	33	32	32	33	33	33	33	33

※常勤医師数は各年度末人数

「常勤医師」:病院事業管理者、常勤医師、大田総合医育成センター医師

■ 収支計画(プランP18、19)

(1) 収益的収支(プランP18)

(単位:百万円、税抜)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)	
		(見込)	(実績)						
収入	医業収益(a)	4,320	4,515	4,451	5,037	5,023	5,023	5,023	5,037
	入院収益	2,636	2,714	2,656	3,240	3,231	3,231	3,231	3,240
	外来収益	1,265	1,376	1,360	1,396	1,391	1,391	1,391	1,396
	その他医業収益	419	425	435	401	401	401	401	401
	一般会計繰入金	283	287	296	290	290	290	290	290
	その他	135	138	139	111	111	111	111	111
	医業外収益(a)	1,408	1,124	1,228	576	575	569	565	554
	一般会計繰入金	463	434	430	431	431	429	427	425
	その他	945	690	798	145	144	140	138	129
	特別利益(c)	5	4	4	0	0	0	0	0
収益的収入(A)=(a)+(b)+(c)	5,732	5,643	5,683	5,614	5,598	5,592	5,588	5,592	
支出	医業費用(d)	5,347	5,643	5,606	5,842	5,798	5,752	5,697	5,755
	給与費	3,082	3,144	3,111	3,297	3,293	3,290	3,294	3,299
	材料費	781	846	852	908	905	905	905	908
	経費	797	870	861	883	884	885	885	886
	減価償却費	676	772	772	740	702	658	598	647
	その他	12	11	10	15	15	15	15	15
	医業外費用(e)	262	275	273	285	282	279	276	274
	支払利息	51	49	49	47	43	40	37	34
	その他	212	226	224	239	239	239	238	239
	特別損失(f)	9	12	12	0	0	0	0	0
収益的収入(B)=(d)+(e)+(f)	5,619	5,930	5,891	6,128	6,080	6,031	5,973	6,029	
収益的収支(C)=(A)-(B)	113	△ 287	△ 208	△ 514	△ 482	△ 438	△ 385	△ 437	
減価償却前等収支(D)	797	481	592	223	217	221	217	223	

※表示単位未満四捨五入の関係で、合計値と計の値が一致しない場合がある。

※外来収益及びその他医業収益、医業費用には訪問看護における収益及び費用を含む。

(2) 資本的収支(プランP18)

(単位:百万円、税込)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)	
		(見込)	(実績)						
収入	資本的収入(E)	947	365	365	306	353	312	1,014	550
	企業債	563	78	78	50	30	30	500	30
	一般会計繰入金	331	243	243	226	323	282	514	520
	その他	53	44	44	30	0	0	0	0
支出	資本的支出(F)	1,195	568	567	470	546	433	1,195	737
	建設改良費	646	120	120	50	30	30	500	30
	企業債償還金等	541	442	442	411	507	394	686	699
	その他	7	6	6	9	9	9	9	9
資本的収支(G)=(E)-(F)		△ 248	△ 202	△ 202	△ 163	△ 193	△ 121	△ 182	△ 187

※表示単位未満四捨五入の関係で、合計値と計の値が一致しない場合がある。

(3) 資金(プランP19)

(単位:百万円)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
		(見込)	(実績)					
単年度資金収支	550	279	390	59	24	101	35	36
資金期末残高	536	870	883	903	932	1,035	1,073	1,114

(4) 一般会計繰入金(再掲)(プランP19)

(単位:百万円)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
		(見込)	(実績)					
収益的収入	746	721	726	721	720	719	716	715
医業	283	287	296	290	290	290	290	290
医業外	463	434	430	431	431	429	427	425
資本的収入	331	243	243	226	323	282	514	520
合計	1,077	964	969	947	1,043	1,001	1,230	1,235

【参考】(プランP19)

項目	3年度 (実績)	4年度		5年度 (計画)	6年度 (計画)	7年度 (計画)	8年度 (計画)	9年度 (計画)
		(見込)	(実績)					
経常収支比率(%)	102.1	95.3	96.6	91.6	92.1	92.7	93.6	92.8
修正医業収支比率(%)	75.5	74.9	74.1	81.3	81.6	82.3	83.1	82.5

5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿

(敬称略)

所 属	役職	氏 名	備 考
大田市社会福祉協議会	会長	知野見 清二	委員長
大田市医師会	会長	福田 一雄	副委員長
大田市議会	民生委員長	森山 幸太	
大田市自治会連合会	会長	安藤 彰浩	
病院ボランティア カーネーション	会長	森山 朝子	
大田市介護サービス事業者協議会	会長	福田 清美	
島根県県央保健所	所長	杉谷 亮	
大田市	健康福祉部長	布野 英彦	

(参考) 大田市立病院概要

病院名	大田市立病院
経営状態	地方公営企業法全部適用
所在地	島根県大田市大田町吉永1428番地3
病床数	229床(一般180床、療養45床、感染4床)
診療科目	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (計20科目) ※令和4年度以降、呼吸器外科、心臓血管外科は休診